

「倉吉都市計画マスタープラン」市民説明会

1 実施概要

現在策定中のマスタープランに市民の意見も反映させるため、平成29年10月6日から13日までの日程で、各地域で中心となる市内4地区の地区公民館を会場に市民説明会を実施した。

当日は、倉吉市の都市計画マスタープランと同様に現在鳥取県が策定中の区域マスタープランとの合同説明会とし、マスタープランの説明を行うとともに、市民からの意見をいただいた。

2 説明内容について

- (1) 目的、趣旨説明と倉吉市の主な出来事
- (2) まちづくりの課題と目標
- (3) 各地域の話題、地域づくりの方針

3 実施状況

	河北地域	中央地域	西部地域	南部地域
期 日	10月6日(金)	10月13日(金)	10月11日(水)	10月12日(木)
時 間	19:00~20:00	19:00~20:30	19:00~20:00	19:00~20:30
場 所	上井公民館 多目的ホール	成徳公民館 中会議室	社公民館 第2・3会議室	小鴨公民館 大会議室
参加人数	12人	9人	29人	11人
居住別の内訳 (公民館別)	上北条 4人 上井 1人 西郷 7人	上灘 4人 成徳 2人 明倫 3人	灘手 4人 社 21人 北谷 3人 高城 1人 その他 1人	小鴨 8人 上小鴨 関金 3人
事務局				
鳥取県	1人	1人	1人	1人
倉吉市	5人	5人	5人	5人
(株)ウエスコ	2人	2人	1人	1人
市民からの 意見等	別添 「倉吉都市計画マスタープラン」の見直しに向けた市民説明会			

10月6日【河北地域】



10月11日【西部地域】



10月12日【南部地域】



10月13日【中央地域】



「倉吉都市計画マスタープラン」市民説明会（地域別）

1 河北地域

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【市街地整備：空き家】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上北条では空き家が増えてきている。独居老人の増加に伴い、施設への入所などによるものも原因の一つで、完全な空き家ではないがそれらも増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家は目立ってきていると我々も感じているため、検討していきたい。 参考までに、9月30日現在、市内の空き家は総数は1,258件あり、上北条は30件、上井は110件、西郷は61件、成徳は158件、明倫は204件となっている。 <p>⇒ 空き家対策についてはMPに記載</p>
<p>【土地利用：農地の宅地化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上北条は農業が盛んだが、井手畑から先には住宅、今では天理教の手前や保育園の横、ベクト総業周辺までアパートができています。人口が増加して農地は減ってきているのは事実である。生産者の農業離れや高齢化で農業ができなくなり宅地化に向かっていると思われる。しかし、環境が悪いなどとは思っていない。お店はローソンしかないが、小学校や保育園が揃っている。 	<p>⇒ 上北条地区の宅地化の進行についてはMPに記載</p>
<p>【土地利用：用途地域への規制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上北条は宅地化が進行しているが、用途地域などの規制までは必要ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重なご意見として承る。 <p>⇒ 上北条地区の宅地化の進行についてはMPに記載</p>
<p>【土地利用：用途地域への規制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西郷地区には市街地の中に農地が残っており、ポツポツと宅地も増えてきているが、住居系の用途地域指定を行うと他の用途への宅地化ができなくなるので、まだ要らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重なご意見として承る。 <p>⇒ 西郷地区の宅地化の進行についてはMPに記載</p>
<p>【都市防災：水害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西郷地区では、台風15号の際に水位が4m以上上昇した。三徳川と竹田川の合流地点であるため、災害に備えた対策などの記載が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策は大切なことであり、5ページに記載している。もう少し踏み込んだ記載を検討することとしたい。 都市計画マスタープランは方針であるため、具体的な内容は記載しないまでも「洪水への対応」などの文言は検討することとしたい。 <p>⇒ 水害対策としてMPに記載</p>

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【都市施設：公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 車で5分行けば、清谷（商業地域）があるので必要ない。 • 高齢化率が30%以上となっているため、買い物足の確保する施策が必要と考える。昨年大雪などがあると何日も買い物に出られなくなるからである。 • 巡回バスは昔あったが、どうなったか？また、バス路線の北条線について、河北プラザ経由で北条へ行くようなルートについてアンケートが過去にあった。 • 駅から美術館や未来中心、白壁土蔵群などへ100円で循環するなど、主な観光地を回る鳥取市が行っているようなルートバスがあれば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • スーパーなどは必要かとの問いに認したい。 • 具体的な手段として、巡回バスなどは必要か確認したい。 • 駅周辺の巡回バスについては、試験導入を行ったが、利用率が低いため中止となった経緯がある。 <p>⇒ 公共交通対策はMPに記載</p>
<p>【市街地整備：倉吉駅周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 駅から北条へ向かう道路はすれ違いが困難なので、電柱を地中化してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電柱については、すでに片側に寄せるような工事を行ったところである。また、ご指摘の内容は市街地整備に合わせた道路整備、踏切拡幅などについては方針図に記載している。 <p>⇒市街地整備対策はMPに記載</p>
<p>【都市施設：都市計画道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 説明では市道八屋福庭線は来年度整備すると言われたが、整備方針図では八屋上井線が長期未着手道路の見直しとなっている。路線の位置や名前がわからないので教えていただきたい。 • 八屋と福庭が繋がっていないので名前がわかりにくいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 八屋福庭線は八屋から山陰本線を跨線して福庭に向かう都市計画道路であった。しかし、数年前に八屋から駅までの区間と駅から福庭までの区間に分割され、都市計画道路八屋上井線と倉吉駅河北線に名称変更している。都市計画道路倉吉駅河北線は市道名が八屋福庭線であり、市道の名称は前のままとっている。 <p>⇒都市計画道路はMPに記載</p>

2 西部地域

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【人口：核家族化の進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口が減り、世帯数が増えることは良いことなのか。 秋喜新町は住宅がたくさんできて核家族化進行している。移住者の多くは高城、北谷、灘手の方であり、問題なのはその地区での過疎化の進行である。 若い人は次世代を見据えているとは言えず、また、その世代の子供たちは同じところに住まずに出ていく。これが繰り返されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化が進展することは、土地利用の流動化の視点から見ればよいことだと思われるが、農地（農業生産の場）が減るといった側面の両面がある。行政として、良否の判断は難しいと考えている。 <p>⇒関連する計画において取り組む</p>
<p>【人口：将来人口維持の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口フレームについて、将来人口 42,300 人とあるが、どのような考え方を持って人口を維持していくのか伺いたい。 30代の人がいかに地域に残るかがカギであり、そうでなければ、消滅する自治体も出てくるなどとも言われている。 高齢化は止められないにしても、自然減、社会減の施策はどのように考えているのか。人口減少への対策と人口維持の対策を分けて考え、それらをきちんと説明することが必要である。人口の目標を掲げるだけではダメである。話にリアリティがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口動態については、もう少し詳しく掘り下げていく必要があると考えている。人口減少の実態としては次の2点があると把握している。 一つ目は社会減であり、毎年3月に18歳になると、進学や就職を機に3大都市圏へ流出している傾向がある。これについて、国に対して首都圏への集中を改善し、分散するよう以前から呼びかけているところである。 二つ目は自然減であり、正社員の採用有無や一定の給与水準に満たないことから、雇用の質の問題があり、結婚する余力がない人がいることや晩婚化などが挙げられる。これについて、出会いの場を設けるなどの施策を行ったりしている。 人口減を食い止めることは日本全体の問題でやむを得ないと考えているが、雇用対策や定住対策など、地域にとって本当に必要な対策をみなさんとともに検討していく必要があると考えている。 <p>⇒関連する計画で取り組む</p>
<p>【都市防災・地震・水害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料5ページの都市景観・都市環境の課題について、「市内で比較的地震動が大きく、地震被害が発生しやすい地域」とあるが、西部地域が住みにくいと捉えられてしまうので、表現が良くないと思う。 災害は地震だけではなく、水害もある。中心市街地では天神川の増水で浸水する地域もあるので、同じような書き方をしているの 	<ul style="list-style-type: none"> 災害に関する危険性について、市民への周知と考えて記載しているが、ご指摘のとおり表現が好ましくないと思われるので、検討することとしたい。 <p>⇒都市防災対策としてMPに記載</p>

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
か。	
<p>【都市施設：公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北谷、高城地区から人がどんどん出ていき、人口が少なくなったので、バスは久米中までしか来ない。高齢者の通院や買い物などの日常生活は大変になると思う。特に、高齢者が一人暮らしするため、便利な西倉吉に出ていく傾向にある。 これからの子供たちは、自分の地区の生活がし辛くなると思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通が不足している点について、担当している課と協議しながら具体的なことを検討していきたい。 NPOたかしろでの乗合タクシーのように、持続可能な交通手段について、いろいろな選択肢を考えていきたい。 <p>⇒公共交通対策としてMPに記載</p>

3 南部地域

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【人口：人口増の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標について、人口減少が進み、関金地区の高齢化率が40%を超えている状況において、「にぎやかな中心市街地づくり」や「地域コミュニティの活性化」という大きな目標を掲げているが、実現可能なか伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 実現したいと考えているが、何もしなければ地域が消滅する可能性がある。これまでのような大規模な事業は難しいが、地域拠点を中心に、なんとか日常生活を守り、維持できるような工夫が必要であると考えている。 <p>⇒関連する計画において取り組む</p>
<p>【人口：移住・定住対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住・定住について、倉吉市や鳥取市は住みよさランキングで全国的に上位を占めているので、これからもがんばってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き努力していきたい。また、倉吉市全体の移住者は平成28年度で194人となっている。ただし、前居住地は不明である。 <p>⇒移住・定住対策についてはMPに記載</p>
<p>【人口：人口予測と地域分析による検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少下において、工業団地や住宅団地を作っても意味がない。人口を予測し、地域がどのようになるのか分析し、検討する必要があるのでは。 今年度の関金小学校の入学者は20人程度であり、将来、県外の大学や就職する可能性もある。また、関金に戻ってきたり、結婚して子育てすることがあっても、確実に人口は減少していく。 移住・定住は右肩上がりであるとの説明があったが、具体的にはどのような施策を行っているのか伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合政策課では、「倉吉市まち・ひと・しごと人口ビジョン」を策定しており、将来人口を推計している。この中の具体的な施策として、①窓口の移住相談員・地域内の移住コーディネーター配置事業、②田舎暮らし体験ツアー・お試し住宅設置事業、③集落の暮らし・共働ハンドブック作成事業など、細かな事業を挙げている。これらにより、すぐに成果が出てくるものではないが、できる限りの事業を行い、総合的に人口定住を進めていきたい。 <p>⇒市街地整備方針の移住・定住対策としてMPに記載</p>
<p>【人口：人口対策に対する県の方向性】</p>	

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<ul style="list-style-type: none"> 東京一極集中が進み、地方への分散の取り組みは良いと思うが、どこの市町村でも移住・定住対策をやっている。国全体でみれば人の取り合いであり、あまり良い施策とは思わない。特に、移住者の194人は多いとは思いますが、市全体の人口に比べれば僅かなものであり、人口増加への転換は、時間をかけても難しいことだと思う。 選挙前なので各党では子育て支援や少子化対策などを掲げているが、県はどのような方向性を持っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定住対策は、人の奪い合いという側面もあるが、住みよい環境づくりを提供したいという思いがこの計画にはあると考えている。就職など雇用の質の問題があり、結婚や子育てに至らないこともあるが、企業誘致や学校誘致、子育て支援など様々な手を打っていき、行政としても地域を意識した計画づくりを進めていきたい。 首都圏への一極集中については、以前より県から国へ提言している。また、幼児教育や高等教育の無償化などは全国の知事会などでも提言しているところである。これらについては、選挙後にしっかりと議論していきたいと考えている。
<p>【都市施設：高規格道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道313号北条湯原線の倉吉関金道路について、当時の供用開始予定は、平成25年から26年ごろの予定であったが、開通が遅れており、消防署からの取り付け道路も整備が進んでいない。 供用が開始されれば、福山インターチェンジ周辺の宅地開発が進むことを上小鴨の人は望んでいると聞いている。 道路予定地の用地買収はできたのか。 福山から関金までの整備予定を県に確認したところ、正確な年数は回答できないとのことであった。県としての基本姿勢の問題であり、用地買収などで遅れているのであれば、積極的な情報公開を行っていくべきである。要は説明不足である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年6月には福光に、倉吉西インターチェンジが供用開始し、福山インターチェンジまでの供用開始予定は平成30年代初めと言われている。 給食センターから仙隠岡田線までのアクセス道路は福山インターの供用開始と同時に終われ、遅くとも平成30年代半ばまでであると思われる。 平成29年には石塚までが完了し、平成30年には福山を予定している。一部、用地買収が難しいところもある。 供用開始は今より、若干延びると思われる。 担当課へ伝えていくことと同時に、できる限り情報公開に努めていきたい。 <p>⇒高規格道路の整備方針としてMPに記載</p>
<p>【土地利用：工業用地確保の提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターチェンジが整備されても、素通りすることが多いと思われる。このため、西倉工業団地の用地不足や湯原から上小鴨までは車で30分程度であることを考えると、上小鴨や小鴨あたりに工業団地を作ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> — <p>⇒土地利用・工業用地はMPに記載</p>
<p>【土地利用：宅地化への要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生田では人口が増加しており、農地が減っている。米作りをする人が減っているは問題である。米を作っても赤字になるので、それが 	<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住については、引き続き努力していきたい。また、子育て支援、新規就農などたくさんメニューの中から、実現可能

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>原因で宅地化が進行しているかもしれない。また、学校周辺という条件の良いところに道路や宅地などが整備され、地価が安いことが要因と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生田の人は、関金から出てきている人が多いと思われるが、市内の移動であり、市全体の人口増加ではない。市外からの転入促進策が必要である。Iターンで田舎に住みたいという需要は高いので、働き先を確保してあげる必要がある。田舎暮らしに適した、土地付き、田畑付きの空き家もたくさんあるので、これらを活用するため、地元も意識改革をしていく必要がある。 転入者に補助金を出すなど、定住者へのメリットが必要では。 	<p>な施策を少しずつ地道に進めていく必要があると考えている。</p> <p>⇒市街地整備方針の移住・定住対策としてMPに記載</p>
<p>【土地利用：土地利用計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途地域の見直しとはどのようなことか。 田舎は農振法などで住みやすいまちづくりが進められていると思うが、まちなかに1反の農地を残し、宅地化しないのはどうかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の宅地化が進行しても良いか、農地を残すべきか、そのあたりも含めて、用途地域の指定や土地利用計画などを検討することとしたい。 <p>⇒土地利用方針としてMPに記載</p>

4 中央地域

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【人口：人口減少の要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉吉市の人口減少は、自然減なのか社会減なのか。鳥取県は県外へ進学すると就職先がないので帰ってこない傾向がある。何人くらい流出しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市では「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定しており、その中で、20歳前後の人は大学進学や就職を機に転出し、その大部分が戻ってきていない状況にあると分析している。 倉吉市の人口動態は、平成22年で自然動態が-238人、社会動態が-229人とほぼ同程度であったが、平成27年には自然動態が-306人、社会動態が-92人となっていることから、現在は自然減が人口減少の主な原因となっている。

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【産業：（中心）市街地活性化対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標について、「にぎやかな中心市街地」とあり、対象は成徳、明倫と思われるが、現実には商業地は上井に出て行っている。都市機能を取り戻すということか。中心市街地は空き家や空き地も多く、店舗は閉店したままである。どのような考え方で活性化させようとしているのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標は、具体の地域と合っていない部分もあるが、倉吉市全体の内容を指して設定している。貴重な意見として承りたい。 <p>⇒市街地整備としてMPに記載</p>
<p>【産業：観光資源の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 313 号ができると関西圏から人が入ってくるので、倉吉市にとって何が本当に良いのか考えるべき。目標の内容と具体の地域がマッチしていない。国道 313 号は市の玄関口なので関金の活性化について、行政としてどのような魅力づくりを行っていくか考える必要がある。 	<p>⇒市街地整備方針としてMPに記載</p>
<p>【都市景観・都市環境：防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園についても防災面を考えると整備が必要となってくると思う。 	<p>⇒都市防災の整備方針としてMPに記載</p>
<p>【都市施設：下水道・河川】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「河川敷空間の有効活用」とは護岸から上のことか。小鴨川は3年に1回は水が上がってきており、有効活用するのであればそこまで考えているか。この前の台風でも水が上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 護岸から上のことである。 <p>⇒都市施設の整備方針としてMPに記載</p>
<p>【市街地整備：空き家対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 明倫は市内でも少子高齢化が一番進んでいるが、空き家バンクは本当に活用できるのか。貸す側も貸さないという倉吉市民の性格上、利用活用は難しいと考えている。 これまでのまちは平面的に拡大する時期があった。このため、中心部の商業地や住宅地は河北まで広がった。今では中央地域は衰退し、空き家や更地が増えている。特に、うちの地区は明倫では最小の地区で、30世帯に満たず、地震でさらに減少している。ここは江戸時代からの町屋で土地が狭く、まとまって建物を建てる所が無い。このため、各家庭の状況から推測すると20年後には10世帯しか残らない可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の話が出たので紹介しておく、平成29年9月30日現在の倉吉市全体の空き家は809戸あり、そのうち上灘は60戸、成徳は113戸、明倫は162戸となっている。 <p>⇒市街地整備方針としてMPに記載</p>

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>【市街地整備：コンパクト化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉吉はもはや平面的に拡大せず、コンパクトになる時代。いかにエネルギーを少なくして活動できるようにするか、買い物や用事を済ますときなど、歩いていけるまちづくりが必要である。市として、どのように考えていくか検討していただきたい。 	<p>⇒市街地整備方針としてMPに記載</p>
<p>【上位計画との整合性】</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさんの資料が整理してあり、良い統計情報であると思うが、資料の1ページの「はじめに」というところで、「上位関連計画等と整合を図りながら」とあるが、上位計画である第11次総合計画とどの程度整合しているのか、記載内容がマッチしていないと思う。成徳、明倫は高齢化率がかかなり高いのに、高齢化社会に対することが入っていない。 総合計画の上に都市計画マスタープランという新しい計画ができるが、倉吉の方向性には合っていないと思う。コンパクトなまちづくりは必要だと思うが、総合計画とかなり逸脱している。記載内容がかかなり多岐に渡っており、どこを向いているのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の考えを踏襲し、逸脱しないよう整合を図っている。 平成18年の第10次総合計画の策定を受け、平成20年に現行の都市マスを策定した。今回は、平成23年の第11次総合計画の策定後、平成27年の後期計画を受け、平成28年度から都市マスを策定しているところである。 本計画では、コンパクトなまちづくりを基本的な考え方としている。 <p>⇒上位計画との整合はP4-4～4-5に記載</p>
<p>【都市計画区域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の4ページの将来都市構造図で、赤枠は将来の都市計画区域を示しているか。拡大していく予定はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の都市計画区域であり、今のところ拡大の予定はない。
<p>【都市施設：都市計画道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備方針図の「長期未着手都市計画道路の見直し」とあるが、どのように見直すのか。 関係機関の声を聴く時期や見直しの期間はどれくらいか。10年くらいかかるのか。 昭和30年代から50年間未着手であった都市計画道路は、他の道路ができたので、必要性がなくなった。家の近所にもあるが、これは都市計画上の制約があり、住民から見ればマイナスの要素である。50年間保留しているのは行政の怠慢である。早く対応すべきではなかったのか。非常に憤慨している。北条湯原道路ができたので、他の道路にも影響が出ていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の見直しとは、これから各路線について、どの路線を整備するか、または廃止するのか、ということを検討していくというものである。 時期としては、早くても平成30年度には地元に入っていきたいと考えている。期間は10年まではかからないと思うが、全てを一度に進めるわけではないため、路線の状況を見ながら順番に検討していくこととしたい。 <p>⇒都市計画道路の見直しはMPに記載</p>
<p>【土地利用：農用地区域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地内農地は宅地並み課税や固定資産税がかかり、税金が高いと聞いている。 路線価は今の宅地価格で評価されると聞いている。また、農地が残っているのは相続税 	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税は現況の地目に応じて課税評価されているため、農地であれば農地、宅地であれば宅地の評価額となっている。また、相続税は国税局が算定しているため、

意見・質疑	市民説明会での応答 (⇒MPへの記載等)
<p>がかかるので農業をしなければならぬとも聞いている。</p>	<p>市としては回答を控えさせていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 宅地並み課税は、鳥取市や米子市のように市街化区域のある都市に課税されている。市街化区域は10年間に宅地化を促進させる区域である。しかし、30年間農地として保全する「生産緑地」という選択肢もある。このため、倉吉市では、宅地並み課税とは無縁である。
<p>【都市施設：公園・緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「大御堂廃寺跡の整備・活用」とあるが、どのような整備をするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 大御堂廃寺跡は歴史公園として芝生を張った整備のみである。遊具等を置いただけの公園ではなく、国分寺跡のように、歴史を感じられるよう、もう一步進んだ整備を予定している。 <p>⇒都市施設の整備方針に記載</p>
<p>【都市施設：下水道・河川】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内水対策として、成徳の地下にトンネルを掘っているようだが、どうなったか。また、都市計画マスタープランに基づいて下水道整備が進められるのであれば、治水についても記載してほしい。 • この計画に災害対策について記載してほしい。成徳と明倫は増水時に水没する可能性が高いので、どこに避難すればよいのか、上流側なのか下流側なのかなど、きちんと示してほしい。特に地震と水害は避難場所が違う。また、この辺りは昭和40年代に農地があり、雨水の流れ場があったが、現在は宅地化されて水の流れ場がない。このため、20年後を見据えた雨水排水処理についても記載していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 下水道課で今年度から着手しており、事業としては進んでいると聞いている。詳細は担当課へ確認することとしたい。 • 災害対策については、盛り込むべき事項と考えている。 <p>⇒都市施設の整備方針に記載</p>